

学友会ニュース

No.279

発行日：令和8年3月25日
発行：芦屋川カレッジ学友会
<https://ac-gakuyukai.com>



芦屋川カレッジ学友会

令和8年度総会 & 新入会員歓迎会

4.13(月)

9時30分開場

9時45分～11時30分

ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール

第1部 令和8年度学友会総会

令和7年度報告、令和8年度事業計画、
学友会40周年事業他

第2部 新入会員歓迎会

総会終了後は、弦楽四重奏の演奏会で新しい
仲間、芦屋川カレッジ 42 期生のみなさんの
入会を歓迎します。是非ご参加ください。

弦楽四重奏

Program



10時30分～11時30分

ヴィヴァルディ “四季” 第1番“春”

ハイドン 弦楽四重奏曲第67番“ひばり”

ビゼー カルメン ファンタジア

唱歌メドレー ふるさとの四季

※ 曲目・曲順は変更することがあります



1st ヴァイオリン
中嶋弥生



2nd ヴァイオリン
河村真央



ヴァイオリン
平井菜月美



チェロ
藤原克匡

自由投稿

現在の学友会を作った方々 19期 福芝 芳太郎

学友会は斎藤幸初代学友会会長（1期生）により設立されました。行事は毎月の講演会が主体で市の援助を受けていました。そのため一般公開して市民へ還元していたようで、今も影響が続いています。

現在の学友会の基礎を作ったのは川下好明第7代会長（第11期生）です。講演会、新年会、納涼会、映画会、音楽会、新入会員歓迎アトラクションを初めて開催し、学友会ニュースも発行しました。また、同期会を最初に作ったのも11期生です。その後、12期から16期まで順次同期会ができ、学友会委員として学友会の基礎作りを手伝いました。ただ各委員はそれぞれ勝手なことを言い合ったようで、川下会長はまとめるのにご苦労されたそうです。

歴代の学友会会長たちは大なり小なり学友会の発展に努めてこられました。林哲也第16代会長の場合は囲碁大会を行事として企画し、毎月を行事で埋める努力をしました。また、女性委員だけで企画する女性のための行事も試みました。信岡利英第12代会長（15期生）は学友会を芦屋市の無形文化遺産にするよう市に働きかけていました。

特筆すべきは、野村克彦会長（28期生）が学友会にボランティア機能を組織的に持たせるべく提案し、実践したことです。小生は会長の依頼を受けて今の社会貢献グループを立ち上げました。11期生が同期会を結成したのも、阪神大震災の後片付けをするボランティア組織が必要だったからで、学友会に社会貢献機能が必要なことを誰もが感じていたはずですが。現在は風井宏社会貢献グループリーダーがボランティア精神をしっかりと継承してくださっています。



40周年記念ロゴ



歩んできた40年、深まる絆と輝く歴史。心ひとつに共に創る未来へ。

40周年記念行事

記念パーティ 7月7日(火)

ジ オリент神戸
(旧オリエンタルホテル神戸)
音楽イベントも開催

記念演奏会 10月4日(日)

芦屋フィルハーモニーとのコラボ

記念講演会 12月14日(月)

興福寺寺務老院 多川俊映氏

記念誌発行

令和9年1月新年会にて配布

3月9日講演会の報告

3月9日、ルナ・ホールにて、元大阪府立大学理事・講師の正木裕氏による「邪馬壹(台)国は九州にあった」と題した講演が行われました。最新の科学的分析に基づく非常に説得力のある内容で大いに知的好奇心を刺激されました。参加者数は154名、担当は企画G、38期でした。



2月19日親睦女性麻雀大会の報告

2月19日、第4回親睦女性麻雀大会を市民センター116室にて開催しました。寒の戻りで厳しい寒さの中、5卓20名の参加で熱戦が繰り広げられました。チーム優勝は31期B（澄川さん、伊藤さん）、二位は36期A、三位は35期でした。また、個人戦一位は31期の澄川さん、2位は30期の進さんでした。

(実行委員 鳥川美雄)



チーム優勝・31期B
澄川さん 伊藤さん



対戦風景

5月講演会のご案内

5月11日(月) 日本を取り巻く環境
～日本再生に何をなすべきか～
14:00～15:30 麗澤大学特別教授、元空将
ルナ・ホール

おりたくにお
織田邦男氏



混迷を極める国際情勢の中で、日本は今、かつてない危機の渦中にあります。ウクライナ、台湾海峡、そして中東情勢。激変する安全保障環境に対し、私たちはどう向き合うべきなのでしょうか。